１１月の「図書館おすすめ絵本」です

１１月２０日（金）は「おひざにだっこのおはなし会」の日。栗盛記念図書館１階多目的室で、奇数月の１０時から３０分程度、乳幼児と保護者への絵本の読み聞かせを行っています。申込不要ですのでお気軽にご来場ください。読み手は「おはなしの森」さんです。

所蔵館
栗盛

書名	いもほり、てつだってくんねぇか？	分類	Ｅイ
著者	いわさき　さとこ／さく	出版社	ＢＬ出版

やきいも屋のいもすけさんの畑では、さつまいもがたくさんそだちました。いもすけさん一人ではいもほりをするのはむりそうと思い手伝いをたのむため、となり町のしんせきをさがしにでかけました。いもすけさんに似ているひとのおうちを教えてもらいますが、そこにいたのはしんせきだはなく…。いもすけさんはさつまいもを収穫できたのでしょうか。

＊　そのほかの新着絵本　＊

「かいてんずしのずかん」　みんなの大すきなかいてんずしのヒミツがぜんぶわかります。
「さがして！ワンワン」　『いないいないはあっ!』のワンワンがかくれているよ。みつけてね。
「どんぐりず　ぎゅっ」　どんぐり５人組がリスといっしょに、ころころ、びゅーん！
「とん　とん　とん！」　ノックしてドアをめくってみよう 。だれのおうちかな？

↑所蔵館：栗盛・おおとり号、栗盛、栗盛、栗盛

NO IMAGE

所蔵館
栗盛

書名	犬ぼえの森	分類	Ｅイ
著者	野添憲治/ぶん　宮越喜久治/え	出版社	草土文化

狩りの名人の佐太六は、南部のお殿様よりどこで狩りをしてもよい天下御免の巻物をいただいた。ある日狩りに夢中になり三戸城にむけて鉄砲をうってしまった。巻物を忘れた佐太六はつかまり、首をはねられることになった。シロは走った。佐太六を助けるために。けれどシロの願いはかなわなかった。シロはなん日も遠吠えをさけびつづけた。

＊　そのほかのいぬの絵本　＊

「ＨＡＣＨＩ - ハチ - 」　大すきなあの人にまたあえるまで、ここでまっているよ。
「ぼくは犬や」　人には人の思いがあるように、犬にもたくさんの気持ちがあるのです。
「ゆうたはともだち」　おれ いぬ、おまえ にんげん。ぜんぜんちがう、だから友だち。
「ワンワンバウワウ」　いろんな国のなきごえをおぼえて世界中の犬とおしゃべりしよう。

↑所蔵館：栗盛・おおとり号・花矢・比内・田代、栗盛、栗盛・おおとり号・花矢・比内、おおとり号